

家に野間清治が住んでいたと
内親から聞かされていたこと
とである。その縁で、仕事のか
たわら野間清治の魅力によりつ
つと。野間清治のゆかりの地は
もちろん、母方の祖父である森
斐蔵の晩年の邸まで訪ね、取材
しているという熱の入れ方であ
る。その桑原氏の元の家は、現
在の南宮学校の南側にあり、通
りの新宮通りと面しているとい
ろにあって、おそらく野間清治
の一家は、子供が生まれたこと
により手狭となった教員宿舎を
離れ、別荘地へ転居したの
であろうか。本誌「ふるさとの
風」(四巻)で取り上げた住所は「新
宿村南側四九十七番地」で、こ
の地は現在の小幡町内渡良橋工
事事務所裏で、事務所前のフェ
ンスを抜つて流れる用水堀の渡
良橋川土手側で、ここに、野間
清治が生まれた教員宿舎といわ
れている。現在在、個人の仕事
が立ち並び、当時を懐かものは
何も見当たらない。南出の小幡
舎とは別の建物と理解でき、清
治が生まれた当時の小学校(二元
構想)の写真も『評伝』には掲
載しているが、その一角に住ん
でいたとは思えられません」と
している。

「二〇二〇」と断定するわけには
いかない。父の経歴が明治十四
年に新宮学校を辞めていること
からすると、学校との縁は切れ
たのでしようか。今となつては
知るすべもありませんが国交省
関係建築工事事務所の南側地と
考えられます。(次号へ続く)



追 想

元 講 談 社 少 年 社 員
林 貞 次

平成転機しました。
そのころは、普請町から水道
橋にかけてビルディングは
無かった時代ですから、とっしり
と想像をかいたような白鳥の版
表は進行く人々の注目を浴びた
ようです。
少年部の表紙は四階で構五
時前後、六時半頃、朝陽橋
町下車にある少年部専用印刷
田町食堂で朝食、そして仕事
ですが、入社一年は概ねお使
いが主たるもので、作家・画家・
漫画家、いはば社会・企業等の広
告関係先・書店廻りその他を自
転車で、現在の文京区から通く
は品川大森方面まで走り廻りま
した。午後四時半から六時花会
社敷内にある道場まで再び剣道
剣道は、持田龜十郎(後の十
段)そして日本、若い七段剣道
となられた増田先生が担任の剣
道場となられました。
六時半まで夕食を済ませて
七時から九時道場の板の間で
修業会が行われます。
正社員となった生原友、少年
部担当者としての野間清治、
広葉さん以下野間、青木、廣
大平さんなどの方が司会進行
行・助言者になったり、社長の著
書である『修業』の「出世の
礎」その頃の教師が進められ、
最後は、三郎と二名の感想発表を
指名されますが、居眠りを我慢

するが懸命だったものです。
その頃先輩から聞いた話には、
社長が青春時代に同人誌から雑
誌の出版に切り換えた方針も賢
念不足のため実現ならず、そ
で三井、三菱の財閥の門を叩い
て創設する考えで繰り返し語れ
たが、何れも門閥が取り難いで
くねかったとのこと。
社長にお会わせてくれるまでは
と云う後者は毎日通つたもので
としました。それ程の熱意ある青
年では、何か見所があるかも知
れぬと先方の心が動かされて面
接の運びとなつたとのこと。
対面の結果若い者に好意を有す
社個性・話の内容・態度に響
き、珍しく見上げた青年であ
ると認められて、三菱の社長が
相談に乗つてくれて、資力
が得られる様になつたとのこと
でした。それが、後の大日本建
立で講談社生員の第一歩なので
そうです。

私たちは、入社三年目の頃か
ら社内それぞれの部署に配属
されますが、編組新社も野間
社長の経営なので、社員勉強の
ため奨励には一年交代で十二
〜三名程度出するが、当時は朝
鮮に鉱山を八ヶ所有していたの
で、少年社員もそれぞれ業務
所へ十名程度送り行つた様
に記憶しています。
毎日の業務を終えて本座に帰る
と必ず先輩のリードで且態様と
お呼びする。原因の裏に座つ
て陣子を擲いて挨拶するので
すが、温かな眼差しと意に心の
底まで見透かされるような印象
を受けたことは忘れられないこ
との一つです。
本座に宿中は馬場で、且態
様一人宿の際に算中を説く。そ
れも「慎重か雅相か寛直日か
努力型か」等の凡てを見透かさ
れる感じがしたものです。
二〜四年で見習社員となり、
履歴は厚子から詰め詰になり、
履歴誌の各種部署・検束部・単
行本部・人事課・厚生課・広報
部・調査部(書庫、名、タイピ
スト)二名、映画班二名が同室。
発注部・キングレコード吹込庫
「道場」本社の中間に設置す
る。及び奥にあるレコード制作
工場。その他伊香保、伊東、富
士川の古酒場の管理人等々何れ
かに配属された。

内 別荘では冬場は伊東、夏
季は伊香保で各々温泉リゾート付
の道場を先立っており、その
東京から先立方を五、六人宛納
して食事、洗濯、夜々のお世
話会などは少年部員十名宛が